

中学校の学校規模別職員配置（例）〈5クラス～1クラス〉

※あくまでも一般的な配置例で実際の配置は学校で異なる

※総時数は1週間当たりの3学年合計の授業時数

1学年5クラス規模（15）

教科	配置	総時数
国語	3	55
社会	3	50
数学	3	55
理科	3	55
音楽	1	16.6
美術	1	16.5
体育	3	45
技術	1	12.5
家庭	1	12.5
英語	4	60
合計	23	

担任22名・教頭1名

1学年4クラス規模（12）

教科	配置	総時数
国語	3	44
社会	2	40
数学	2	44
理科	3	44
音楽	1	13.2
美術	1	13.2
体育	2	36
技術	1	10
家庭	1	10
英語	3	48
合計	19	

担任18名・教頭1名

1学年3クラス規模（9）

教科	配置	総時数
国語	2	33
社会	2	30
数学	2	33
理科	2	33
音楽	1	9.9
美術	1	9.9
体育	2	27
技術	1	7.5
家庭	1	7.5
英語	2	36
合計	16	

担任15名・教頭1名



免許外指導が解消され、6教科に複数の教員配置が可能となる

1学年2クラス規模（6）

教科	配置	総時数
国語	1	22
社会	1	20
数学	1	22
理科	1	22
音楽	1	6.6
美術	1	6.6
体育	1	18
技術	1	5
家庭	1	5
英語	2	24
合計	11	

担任10名・教頭1名



免許外指導は解消できるが、教員1人当たりの時数は最大となる

1学年1クラス規模（3）

教科	配置	総時数
国語	1	11
社会	1	10
数学	1	11
理科	1	11
音楽	1	3.3
美術	1	3.3
体育	1	9
技術	0	2.5
家庭	0	2.5
英語	1	12
合計	8	

担任7名・教頭1名



免許外指導が生じる

【学級減にともなう教員配置の状況と課題】

○科目によっては、配置できない教科がある。

⇒免許外指導や兼務となる場合が発生する。

○科目によっては、複数教員を配置できない。

⇒教員同士が互いに学ぶ機会がなくなり、生徒への学習指導に影響する。

⇒1人で3学年対応する必要があり教員の負担が大きくなる。

○教員に1人に対する校務の負担が増加し、生徒への支援・指導の時間が減少する。